

私の生活の一部伝書鳩飼育 第4弾

平成30年10月吉日



皆さんこんにちは、今回登場する鳩は06年生まれの鳥です。この鳥の両親は♂方に大先輩のM・A氏♀方は前回登場のハル3号尾ヶ井作翔ですが、♂方のM・Aさんは私がまだ中学生の頃 越谷市内では知らない人はいない程の有名な人でした 勿論鳩レースに於いてですけれど長距離レースの第一人者でした私はまだ中学生で面識はありませんでした ただ通学路の途中に位置していた為 毎日鳩を眺めながら学校に通っていました。いつかはこんな鳩を手に入れてみたいなあ～ なんてことを考えながら学校に通っていたものです 鳩も素晴らしかったし M・Aさんの風貌も良かった M・Aさんは稼業の自動車修理業を営んでいましたし自家用車はポロシェでした憧れの人でしたね 現在も息子さんが継いでおり今でもときどき M・Aさんはハーレーダビッドソンでツーリングにいっているそうですかっこいいですね 当時の私はまだ中学生ですしお金もありませんので 性能の良い鳥を手に入れることができない時代でしたからね 野田橋から帰ってくるだけで喜んでいた時代でしたから 大人の人達は働いていますからそれなりの鳥を手に入れることはできた

と思います 私から見れば雲の上の人でした。それから何十年たってその雲の上の人との出会いがあったわけですよ M・A さんの家の新築工事で 私の知り合いの大工さんが請け負う事になりました 私が内線工事を頼まれました初めて M・A さんと鳩の話ができた あれから（中学生一年生）35年ぐらい経つてからでしたので それは感無量ですよ それからは公私共々お付き合いをいただきながら 日に日に意気投合するようになりました 鳩の繋がりも少しずつはじまりました。その頃 M・A さんは既に地区 N 総合優勝・グランプリ総合優勝と素晴らしい成績でした 相変わらず鳩飼育のご指導を頂いておりましたが M・A さんが70歳ぐらいの頃 奥様から M・A さんが入院されたという連絡がありました うちのお父さんが入院してしまいましたので暫くの間鳩の世話ができない尾ヶ井さん預かってほしいと言うことでした 私はすぐに病院に見舞い行き M・A さんとお話しをさせて頂いた結果預かることにしました何しろ預かる鳥は **埼玉地区ナショナルレース総合優勝・埼玉グランプリレース総合優勝** の鳥ですから大変です。

写真の鳥がその時預かった鳥の子で、♂親鳩埼玉グランプリ総合優勝 名前は **サンカズ号** と♀親鳩 私の作出 **ハルサン号** 埼玉地区ナショナル総合第2位との掛け合わせが登場のハルヨン号です、埼玉レジョナル 500K 総合第6位入賞です。全体では 15000 羽位参加していました。このレースにも少し残念なことがあります親鳩ハルサン号の時と同じで優勝鳩の帰還場所が千葉県流山市の飼育者です鳩の帰還コースは海沿いが多いと言われています それは鳩が飛びやすいし 山岳よりも猛禽類が少ない為とかいろいろと言われています事実結果も出ていますから なかには東の方面に引っ越す鳩飼もいるくらいですからね確率で千葉方面からの帰還が多いということです実際放鳩地から自宅への距離は千葉も埼玉も変わりませんから不利という子だと思います 気象条件にも左右されことはあるとおもいますが 頭のいい鳥を早く手に入れる事が一番だと言う人がいます 幸運も勝利の条件に繋がるとおもいます早く連盟総合レースで優勝鳩を出したい・・・・

鳩レースは放鳩地から自宅へ帰還するスピードによって争われます。各飼育舎の距離をあらかじめ GPS で調べておきます、そして帰還に要する時間で割り出し分速・・メートルという数字で表し争われます。

私も現在 67 歳 鳩飼の平均年齢 70 歳前後ですから、高齢の為にほとんどの人がどこか身体の具合が悪いかご近所からの苦情で鳩飼育もままならないのが現実です。その後 M・A さんが鳩レースを再開し現在も一緒に頑張っていますいつまでも続けてほしいと思いますし 今まで競い合っていくと思うと大変うれしいです。